

平成30年度 学校評価表

神石高原町立豊松小学校

経営理念	“責任と協働” 「組織して前進する」をアイデンティティとし、組織的・計画的な経営参画を確立し、RPDCAサイクルに乗せる。	達成度＝達成値×100 評価 A：目標以上 C：60%以上～80%未満 B：達成度が目標の80%以上～100%未満 D：60%未満
------	--	---

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための手立て	評価項目	7月 達成率	12月 達成率	3月 達成率	最終	部	担当
確かな学力	主体性・思考力・伝え合う力を育成する。	算数科において、少人数・複式学級の特徴を生かし、授業を児童自ら主体的に進めさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方を示し、学習リーダーを中心にして、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにする。 	① <ul style="list-style-type: none"> 自分達で授業を進め、進んで学習に取り組む児童の割合を80%以上にする。(アンケートによる自己評価および教師評価) 					教務	兼重
		国語科・算数科において思考力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 思考が深まるノート指導をする。(図や表と式を関連させたり、順序立てて説明したりする等) 	② <ul style="list-style-type: none"> 国語(読む)、算数(数学的な考え方)の単元末テストの平均通過率75%以上の割合を75%以上にする。(全学年) 全国学力・学習状況調査ABの通過率全国平均以上(9月・6年) 標準学力調査の通過率全国平均以上(2月・全学年) 					教務	赤木
		算数科において、伝え合う力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 集団思考の視点を示し、児童が意見を分類したり整理したりしながら、考えを伝え合うことができるようにする。 伝え合いを通して学んだことを振り返りの視点に入れ、思考の深まりを意識させる。 	③ <ul style="list-style-type: none"> 考えを伝え合うことで、思考を深めることができる児童を80%以上にする。(授業の振り返りの記述から判断する。) 						教務
豊かな心	マナーとルールを守り、社会性を身につけさせる。	充実した学校生活を送らせる。	「学校生活振り返り表」を活用し、3つの重点取組課題(あいさつと返事・無言掃除・自分の目標を持つ)の振り返りをさせる。	④ <ul style="list-style-type: none"> 毎月末の自己評価・相互評価・教師評価における達成率を80%以上にする。 					生徒指導	安部
健やかな体	健康で元気な体をつくり、体力の増進を図る。	望ましい生活習慣の定着を図り、進んで体力づくりに取り組もうとする子を育てる。	「家庭生活振り返り表」を活用し、生活重点項目の振り返りをさせる。	⑤ <ul style="list-style-type: none"> 生活リズムに関する本校課題の項目(起床・就寝時刻、テレビ・ゲームの時間)について、自己評価及び家族評価における達成率を80%以上にする。 食に関する項目(箸・茶わんの持ち方)について、自己評価及び家族評価における達成率を85%以上にする。 					生徒指導	高橋 瀬尾
			毎週伸びっ子タイム(ロング昼休憩)を実施し、外遊びの時間及び持久走・縄跳びに取り組む時間を増やす。	⑥ <ul style="list-style-type: none"> 春の新体力テストの結果が県平均を上回る児童の割合を65%以上にする。 秋の新体力テストの結果が県平均を上回る児童の割合を70%以上にする。 					生徒指導	安部
信頼される学校	地域に開かれた信頼される学校を創る。	教職員が組織の一員としての自覚をもち、教育活動を協働的に推進する。	「報告・連絡・相談」を徹底し、課題の把握と解決への体制を迅速に整え、学校の取組を地域へ発信する。	⑦ <ul style="list-style-type: none"> 学校だより・ほけんだより、学校行事のホームページを月1回以上更新し、児童アンケート、保護者アンケートの肯定的評価を80%以上にする。 					生徒指導	脊尾
		豊松のきらりを見つける活動を通して、郷土愛を育てる。	地域に根ざした学習を推進する。	⑧ <ul style="list-style-type: none"> 各学年における地域学習を年間3回以上行う。 					教務	妹尾

改善の方向